

平成29年度 ふれあい人権スポーツ教室（第1回）

開催日時 平成29年7月25日（火） 午前10時～12時
開催場所 撫養児童クラブ 及び 撫養小学校体育館
参加者数 総数78人
(内訳) 児童 50人、児童クラブ担当者 4人、
インディゴソックス選手ほか 5人
人権擁護委員 7人、赤十字奉仕団 2人、市 10人

当日の様子

①開会



②徳島インディゴソックス選手紹介



向井選手 アブドラ選手 山藤選手

③人権擁護委員紹介



④選手と赤十字奉仕団による

人道紙芝居「ばんどうのコスモス」*上映



*赤十字人道紙芝居「ばんどうのコスモス」とは

板東俘虜収容所においてドイツ兵捕虜の人権を最大限に尊重して施設運営をした歴史をはじめ、ロシアで過酷な収容所生活を送る仲間を支援するチャリティー演奏会を開いたことや「第九」交響曲のアジア初演、地元住民との交流などを描いた紙芝居です。

⑤Mr.インディー登場



徳島インディゴソックスのマスコット

⑥準備体操



⑦正しいキャッチボールの方法について



「相手の目を見て胸に向かって投げよう」

⑦二人一組でキャッチボールの練習



「やさしい気持ちで」

⑧選手とキャッチボール



⑨バットの振り方について



⑩ティーバッティング



⑪ボールを打つ練習、捕る練習



⑫狙って投げるストラックアウト



チームごとに分かれて



的に当たるとみんなで喜び合う

⑭閉会

選手から人権サポーターカードのプレゼント



⑭集合写真

参加してくれた児童、徳島インディゴソックス選手、人権擁護委員、赤十字奉仕団の方々とともに



児童らは、プロのスポーツ選手を前に、いきいきとした表情で参加していました。

紙芝居の鑑賞では、内容をしっかり読み取ろうとする子どもたちの真剣な顔がありました。

その後のスポーツ教室では、選手らから「相手を思いやろう」などの言葉かけがあり、特にキャッチボールの練習時には、考えながら工夫して投げている様子がうかがえました。

また、スポーツでのチームワークの重要性とともに、日頃の生活においても友達と助け合うことや仲良くすることが大切といった話があり、皆それぞれに聞いていました。